



第 65 号  
羽工工業高等学校  
2024年3月1日



PTA会長  
平田 勇 輔

### 一歩ずつ、前へ

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、併せてお祝い申し上げます。この度、令和六年一月一日午後四時十分頃、能登半島を震源とする千年に一度と言われる大地震が発生しました。被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。

本校の生徒、保護者の皆様の中にも未だ不自由な生活をされている方も少なからずいらっしゃると思

います。一日も早く、元通りの生活に戻れることを願っております。まだ余震も続いており、くれぐれも最優先は命です。命をまもる行動を心がけてください。

卒業生の皆さんは、入学の頃から新型コロナウイルスの影響で色々な活動を我慢してきましたが、昨年五月からようやくコロナウイルスが五類へと移行し、当たり前の日常、普通の学校生活を取り戻すことが出来ましたね。色々なスポーツ大会、学祭など、たくさんさんの行事を行うことができ、高校生活最後の年に良い思い出ができたのではないかと思います。

これから、就職や進学とそれぞれが違う道を歩んでいくわけですが、社会人一年目から茨の道が待っているかもしれません。

本校の特性上、機械、電気、建築土木、デザイン等の分野に従事することが多く、今年も復興の仕事に追われるかもしれませんね。

本校のOBたちを含め様々な人たちが道路を整備したり、ライブラリを復旧させたりと多方面に渡り、昼夜を問わず活躍されていると聞いております。

どうか卒業生の皆さんにも、どんな形であれ、本校を卒業した先輩方のように、本校で習得した技術や知

識、人間力をいかに発揮し、能登半島復興の一翼を少しでも担ってもらえたらと思います。

そして、いつの日か「俺らの高校の頃、コロナとか地震とかひどかったよな」って笑って言える日が来ることを願っております。

これからの長い人生、いいことばかりではありません。悩み苦しむ事があれば、一人で抱え込まず、今一度、自分が歩んできた道を振り返ってみてください。そこには先生や同級生たち、家族がいます。みんなあなたの味方です。どこかに解決策があるはずですよ。そしてまた一歩ずつ前に進めば良いと思います。

最後になりますが、激動の三年間に惜しみもなく愛情を注いでくださった校長先生をはじめ、諸先生方、学校関係者の皆様には、保護者を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。とともに、今後の本校の発展とご活躍を祈念いたします。

保護者の皆様方におかれましては、今まで十八年間の子育ての労をねぎらうとともに、本校でのPTA活動にご理解とご協力いただき感謝を申し上げます。

卒業生の皆さん

いつか、笑って青春時代を語る日がくると思います。

卒業おめでとうございます。



校長 中越 頭治

# 人生二度無し

最初に、令和六年能登半島地震で亡くなった方のご冥福と、被災された全ての方に、心より深くお見舞い申し上げます。

卒業生の保護者の皆様におかれましては、お子様が三年間の高校生活を終え、社会への門出を迎えられたことに心よりお祝いを申し上げます。在校生は令和六年度に向けて、二年生は進路決定に、一年生は専門性に磨きをかける年になります。

今年度は五月に新型コロナウイルス感染症が五類になり、以前の活発な羽咋工業高校に戻そうと反転攻勢の活動をしてきました。GIGAスクール構想に沿った授業はもちろんですが、様々な行事を実施することができ、それぞれに新たな工夫を盛り込みました。また、業務改善や資格取得の奨励、部活動の活性化に重点を置いてきました。羽工祭の「湘南乃風」によるゲリラライブや、学校公開、新人大会、PTA研修旅行等、

順調に進めることができました。二学期の終業式で、生徒に「三学期の始業式は全員出席だぞ」と笑顔で約束して新年を迎え、そこへ地震。甚大な被害を受けた能登の私たちは、気が遠くなりそうなる多くの課題と不安の中で、生徒・教職員の心と体の健康を見守りながら、何とか出来る限りの対応をしてきました。課題研究の校内発表会や卒業生を送る会など、生徒に寄り添いながら行ってきました。

ここで、ぜひ本校の保護者と生徒達、教職員に見ていただきたい物語があります。発行致知出版社、著者藤尾秀昭氏の「心に響く小さな五つの物語Ⅲ」の中にある「一念、道を拓く」です。

「その少女の足に突然の激痛が走ったのは三歳の冬である。病院での診断は突発性脱疽。肉が焼け、骨が腐る難病で、切断しないと命が危ないという。診断通りだった。

それから間もなく、少女の左手が五本の指をつけたまま、手首からポロっともげ落ちた。悲嘆の底で両親は手術を決意する。少女は両腕を肘の関節から、両足を膝の関節から切り落とされた。

少女七歳の時に父が死亡。

そして九歳になった頃、それまで少女を舐めるように可愛がっていた母が一変する。

猛烈な訓練を始めるのだ。手足の無い少女に着物を与え、

「ほごいてみよ」

「ハサミの使い方を考えよ」

「針に糸を通してみよ」

少女は必死だった。

小刀を口にくわえて鉛筆を削る。口で字を書く。

歯と唇を動かし肘から先が無い腕に挟んだ針に糸を通す。

その糸を舌でクルッと回し玉結びにする。

文字通りの血がにじむ努力。

それができるようになったのは十二歳の終わり頃だった。

ある時、近所の幼な友達に人形の着物を縫ってやった。

その着物は唾でベトベトだった。

それでも幼友達は大喜びだったが、母親は「汚い」と川に放り捨てた。

それを聞いた少女は、

「いつかは濡れていない着物を縫ってみせる」と奮い立った。

少女が濡れていない単衣一枚を仕

立てあげたのは、十五歳の時だった。

この一念が、その後の少女の人生を拓く基になったのである。

その人の名は中村久子。

口で裁縫し、字を書く芸を売りに見世物興行界に入って人気を博し、

やがて著作『心の手足』『私を越えてきた道』が認められ、作家の地位を確立する。

後年、彼女はこう述べている。

「両手両足を切り落とされたこの体が、そが人間としてどう生きるかを教えてくれた最高最大の先生であった」

そして、こう断言する。

「人生に絶望無し。」

いかなる人生にも決して絶望は無い。」

歴史に鮮やかな足跡を残した彼女の生き方を範に、私たちも一念、道を拓く人生を目指していきたい。

最後に、保護者の皆様のご健康と、生徒達の活躍をお祈り申し上げますとともに、今後とも本校に対し、より一層の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 自転車乗車マナー一斉指導 グッドマナーキャンペーン

九月二十日(水)〜二十二日(金)の三日間にグッドマナーキャンペーンが実施されました。併せて石川県下自転車乗車マナー一斉指導が九月二十二日(金)に行われました。

理事・母親委員 瀬戸 郁恵

九月二十一日(木)の朝、校門前の横断歩道に立ちました。雨が降り、傘を持つての登校でしたが、向こうから先に元気に挨拶してくれました。さすが羽工生、とても頼もしく感じました。三十分程でしたが良い時間となりました。

## 羽工祭

九月二十九日(金)〜九月三十日(土)に羽工祭が開催されました。母親委員会ではポテ・ナゲ店を、父親の部はコーヒーとタオルの販売が行われました。

理事・母親委員 打越 利奈

羽工祭において、母親委員会でポテとチキンナゲットの模擬店を出店いたしました。母親委員長の山田さんを中心に、役員が一致団結し、大盛況のうちに終わることができました。感染対策を徹底する中で、先



校門前横断歩道にて



母親委員会模擬店の様子

生方、役員の皆さんの多大なご苦労や協力があつての事と思います。本

## PTA研修会

十一月一日(水)〜七日(火)に学校公開がありました。十一月三日(金・祝)にはモノづくり講演会やPTA母親委員会による研修会が行われました。

講師として、日本アンガーマネジメント協会から澤田慎一郎先生をお迎えし、「よりよいコミュニケーションのために」をテーマに講演を頂きました。怒りが生まれるメカニズムについて説明を受けたり、参加者どうしで演習をしたりしました。ついカットとなって理性を失う前にまず六秒待つて、理性が介入できるようにするなど、

当にありがとうございました。

今年度は、四年ぶりの一般公開の対応となり、家庭で見ることの出来ない子供達の生き生きとした姿を間近で見ることが出来ました。またステーションや出し物からも、大きな成長がひしひしと感じられ、先生方が日頃、親身にご指導して下さっている賜物と、心より感謝申し上げます。

## 校内マラソン大会

十月三十日(月)に校内マラソン大会が行われました。好天の下、男子は十キロ、女子は六キロ走りました。

理事・母親委員 木村 和枝

天気に恵まれ、よく晴れた中、伝統のマラソン大会が開催されました。交通指導のため、県道を横断するポイントまで向かったのですが車で五分もかかり、長い距離を走るんだなとびっくりしました。

生徒が横断する県道は、車の交通量が多く、何台もの車に減速・停車をお願いしたのですが、どの車も快く協力いただき、無事に大会が終わりました。私も生徒たちの頑張る姿を間近で見れて嬉しかったです。



PTA研修会の様子

衝動をコントロールすることを学びました。



マラソン大会にて

### 研修旅行に参加して

研修委員長 浜田 理架

十一月二十五日(土)～二十六日(日)の一泊二日の日程でPTA研修旅行に出かけました。今回は岐阜県の高山自動車短期大学と愛知県のINAXライブミュージアムでの研修でした。

一日目、朝七時半に羽昨工業高校をハイエースとノアに分乗し、岐阜県高山市に向けて出発しました。途中休憩を取りながら紅葉が綺麗ななと思っっている間に、三時間もたないうちに到着しました。

そこでは高山自動車短期大学の施設を見学させて頂きました。高山自動車短期大学へは羽昨工業高校からも進学しているそうです。



高山自動車短期大学にて

実習センターやモータースポーツ

センターの見学をしました。施設はとて広かったです。カッコいい車やバイクも展示しており、普段見る事のできないようなスポーツカーも展示されていました。ラリーの動画も見せて頂き、とても迫力あるラリーで学生達の素早いタイヤ交換や点検する姿も見られて、とても楽しそうで見ました。

次に高山グリーンホテルで昼食を頂いた後、郡上八幡へ行きました。郡上おどりをした後、自由散策の時

に女性五人で食品サンプルを作りました。五人とも、携帯スタンドを作りました。コーヒー牛乳をこぼした先にパンの切れ端がある形の携帯スタンドです。作る時に教科書もあり、とてもリアルで懐かしいなと思いました。作る作業もとても楽しかったですし、いい思い出になりました。校長先生達は、郡上八幡城が駐車場から山頂に向かうと十五分程かかりますが、上まで徒歩で登ってお城を見て来られたそうです。下から見ただけでは高かったようで、とても疲れたのではないかと思います。



郡上八幡城にて

この日の内に名古屋まで行き、先生方と保護者方とでカニすき会席を

食べに行きました。先生方とたくさん話ができたり、交流を深めたりして、とても有意義な会食となりました。

二日目は、熱田神宮を参拝して来ました。千九百年以上続く名社で、身が清められるような空気に満たされていきました。パワーをもらった様な気がしました。

それから、INAXライブミュージアムへ行きました。タイトルの歴史やとても綺麗な模様のタイトルが展示されていたり、LIXILの金のトイレが置いてあったりして、「運がつかもね。」と皆で言いながら見学しました。その後、お土産を買って帰りました。

今回の研修旅行は保護者の方々も行きたい先を選んだり、PTA役員の高橋さんが元PTA会長の山口好範さんとお知り合いだったこともあり、お二人に素晴らしいプランを考えて頂いたりして、とても感謝しています。先生方、保護者の方々もお忙しい中ご参加頂いて、たくさん交流できた事にとっても感謝致します。どうもありがとうございました。

### 課題研究公開發表会中止

令和六年一月二十七日(土)に実施予定の発表会は能登半島地震のため中止となりました。

### 令和5年度部活動の成績 (10月～)

#### 陸上競技

##### ◆新人大会

出場種目 男子100m 男子200m 男子400m  
 男子800m 男子1500m 男子4×100mR  
 走幅跳 円盤投 女子100m 女子4×100mR  
 走幅跳 砲丸投

◆第78回石川県耐寒継走大会 高校男子1部 羽咋工業 第7位

#### 卓球

##### ◆新人大会

男子団体 1回戦敗退  
 女子団体 2回戦敗退  
 女子シングルス 池島 舞 ベスト8

全国高校選抜・北信越選抜出場権獲得

◆第40回羽咋郡市卓球選手権大会

女子シングルス 池島 舞 第1位  
 高田 美鶴 第2位  
 加藤 瑚愛 ベスト8  
 女子ダブルス 高田・新木(羽咋高)ペア 第3位

#### バスケットボール

◆新人大会 2回戦 羽咋工業61-71石川高専

#### バレーボール

◆新人大会 2回戦 羽咋工業51-73鹿西

#### サッカー

◆新人大会 予選リーグ 2敗1分け

#### ラグビーフットボール

◆総体(参考試合) 羽咋工業10-59合同A

##### ◆新人大会

決勝 羽咋工業5-74航空石川 第2位 北信越大会出場



#### バドミントン

◆新人大会 男子団体 1回戦敗退

#### 柔道

##### ◆北信越大会

男子個人戦60kg級 北野慎之祐 ベスト16  
 81kg級 水道 哲兵 2回戦進出  
 女子個人戦階級別 水道 愛奈 ベスト16

##### ◆新人大会

男子個人 60kg級 北野 慎之祐 第1位  
 81kg級 水道 哲兵 第1位  
 女子個人戦階級別 水道 愛奈 第1位 寺井 莉緒 第3位

##### ◆選手権

初段の部 北野慎之祐 第3位  
 水道 哲兵 第5位

#### 剣道

##### ◆新人大会

男子団体 決勝 羽咋工業1-2金沢桜丘 第2位  
 男子個人 森 健真 第1位



#### 弓道

##### ◆新人大会

団体戦 男子 第7位 女子 第8位

#### ソフトテニス

◆新人大会 男子団体 3回戦敗退

#### ヨット

◆新人大会 男子420級 山下・中井組 第1位  
 宮内・永田組 第3位

男子シングルハンダー級 廣瀬 翔 第1位

岩城 渚人 第3位

#### 野球

◆1年生大会 準々決勝 羽咋工業5-6星稜 ベスト8

◆第78回 石川県耐寒継走大会

高校男子 第2部 羽咋工業Aチーム 第1位  
 羽咋工業Bチーム 第2位

#### 区間賞

第1区 木村 祐晟 第1位  
 第2区 岡 羚音 第1位  
 第3区 水口 新太 第1位  
 第4区 横山 陸 第1位

#### 写真

◆高文連美術展

「高校生の写真展」 エンジョイ部門 平木 美月 優良賞

#### コンピューター

◆ジャパンマイコンカーラリー2024北信越地区大会

Advanced Class  
 岩 颯一朗 第25位(石川県2位)

Basic Class  
 山口 翔大 第9位(石川県1位)

Advanced Class  
 寺西 孝宏 第3位(石川県1位)

◆ジャパンマイコンカーラリー2024全国大会

Camera Class 第9位



全国大会出場

全国大会出場

全国大会出場

#### 機械システム

◆第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会旋盤作業部門石川県大会

津田 琉惺 第4位

◆第27回石川県高等学校ロボット競技大会 第3位

◆石川家産業教育フェア2023ロボット競技 第1位

◆石川の技能まつり旋盤加工 津田 琉惺 敢闘賞

#### 測量

◆第44回石川県高等学校測量技術コンテスト 優良賞

#### デザインコース

◆令和5年度愛鳥週間ポスターコンクール

儘田 希桜 優秀賞 加藤 瑚愛 優良賞

◆令和5年度グッドマナーキャンペーンポスター原画募集

竹田 まとい 藤岡 美桜 入選

◆令和5年度共同募金運動ポスターコンクール

儘田 希桜 石川県知事賞  
 寺井 莉緒 石川県教育委員会賞  
 加藤 瑚愛 石川県共同募金会会長賞



◆第44回石川の農林漁業まつり広報図案コンクール

延命 彩希 特選  
 儘田 希桜 準特選  
 森 涼羽 入選

◆令和6年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール

儘田 希桜 入選

#### その他

◆いしかわ総合百万石文化祭2023短歌大会 藤岡 美桜 入選

◆令和5年度家族川柳

片山 冬真、木津 慶大、前田 蒼空、堅田ひなた、山本 京佳  
 萬谷 渚紗 入選

◆千代女少年少女全国俳句大会 小林 潜司 秀逸

◆令和5年度明るい選挙啓発ポスター・標語及び新有権者のメッセージ作品  
 澤森 清孝 優秀賞

進路指導課より

令和五年度の進路状況と  
進路決定のために必要なこと

現在、三年生は一般選抜による進学希望者が最後の努力をしており、その他の進学希望者は既に進学先を決定しています。就職希望者も既に就職内定先が決定しました。今年度は県内企業だけでも六百件程の求人をお待ちいただきました。採用内定を目指し前向きに活動し、希望する企業で内定を勝ち取ることができました。

一方で、能登半島地震により、私たちは様々な困難に直面しています。進路を考える際、将来のキャリアだけでなく、社会を支える一員としての意識が重要です。災害は社会への責任を再認識させる出来事であり、将来の進路選択において、自分が社会にどのよう貢献できるかを考えることが大切ではないでしょうか。

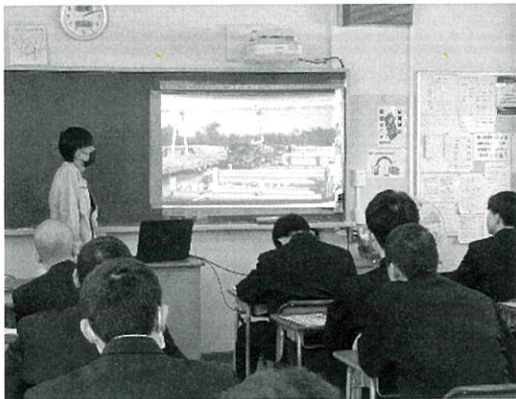
進路決定に際して最も重要なのは、「自己理解」です。大学や専門学校、特定の業種・職種を選ぶ前に、自分自身を深く理解し、根本的な価値観を見つづけることが不可欠です。例えば、「ものがづくりが好き」と感じることや、「人に喜ばれたい」という気持ちや、進路選択の基盤となります。

その次に重要なのは、「進路は自分

で調べ、考え、決める」ことです。他の誰も本人にとって最適な進路を知ることとはできません。

自分の興味や目標に基づいて、主体的に進路を模索し、決定していくことが、将来の成功への第一歩となります。各企業や学校の公式ホームページには貴重な情報が掲載されています。積極的に収集することが必要です。是非、ご家庭でもお子様と一緒に進路についてお話しいただき、お子様が自らの可能性を見つめられるようお手伝いいただければと思います。

最後に、コミュニケーション能力の向上も重要です。推薦入試や就職試験、公務員試験では面接試験が欠



進路ガイダンスにて

最近3ヶ年の求人状況

求人倍率=(求人数/就職希望者数)

	県内	関東	中部・北陸	関西	その他	計	求人倍率
令和3年度	462	275	115	63	6	921	11.5
令和4年度	596	357	173	80	30	1236	18.2
令和5年度	596	47	83	35	3	764	10.8

最近3ヶ年間の就職者地域別決定者数

	羽中・七尾 中能登・かほく	金沢市 近郊	関東	中部・北陸	関西	その他	合計
令和3年度	26	28	0	24	3	0	81
令和4年度	23	23	3	15	3	0	67
令和5年度	37	22	0	13	7	0	79



かせません。進路を真剣に考え、社会への貢献を意識しながら進んでいくことが、将来に向けた大きな一歩となります。

令和5年度 3年生進路状況一覧

	合計	機械システム科 (31H)									電気科 (32H)									建設・デザイン科 (33H)									建設・デザイン科コース別								
		計			男			女			計			男			女			計			男			女			計			男			女		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女						
	116	89	27	38	37	1	38	32	6	40	20	20	16	9	7	12	9	3	12	2	10																
就職 79名 68%	県内	54	45	9	17	17		20	17	3	17	11	6	9	6	3	6	4	2	2	1	1															
	県外	17	15	2	4	4		13	11	2																											
	公務員	3	1	2	1	1		1		1	1		1	1		1																					
	縁故・自営他	5	5					1	1		4	4		1	1		3	3																			
	小計	79	66	13	22	22		35	29	6	22	15	7	11	7	4	9	7	2	2	1	1															
就職希望未定	0	0	0																																		
進学 34名 31%	四年制大学	12	10	2	9	8	1	1	1		2	1	1				1	1		1		1															
	短期大学等	7		7							7		7	2		2				5		5															
	職業訓練等	0	0	0							2	2		3	2	1	2	1	1	3	1	2															
	専門学校等	15	11	4	5	5		2	2		8	4	4	3	2	1	2	1	1	3	1	2															
小計	34	22	13	14	13	1	3	3		17	5	12	5	2	2	3	2	2	9	1	8																
3名	その他	3	2	1	2	2								1		1				1		1															